



「黒澤貞次郎と吾等が村」 黒澤商店蒲田工場

現・新蒲田1-15~19



蒲田駅西口からJR川崎方面の線路沿いにある蒲田電車庫手前にあった国産タイプライターの工場村。社員住宅、菜園、社員子弟のための幼稚園、小学校などもあった。創業者の黒澤貞次郎の夢を実現した理想の工場である。大正2年（1913）から用地を買収しはじめた。

写真左 工場のジオラマ（大田観光協会蔵）。三角屋根工場の左右に菜園、奥に社宅が見える。

写真右 現在の新蒲田1丁目17にある富士通ソリューションスクエア。



大倉陶園

現・西六郷1-4



大正8年（1919）、現在の自動車教習所、志茂田小中学校の敷地に、大倉孫兵衛・和親親子による世界最高峰の陶磁器づくりを目指した工場建設が始まった。洋館やお花畑もあった。

写真左 大倉陶園ジオラマ（大田観光協会蔵）写真中央 JR東海道・京浜東北線沿いにある自動車教習所と踏切に大倉の名前が残る。写真右 大倉陶園の代表作ブルーローズの花瓶・個人蔵。

各務クリスタル製作所 現・西六郷1-12

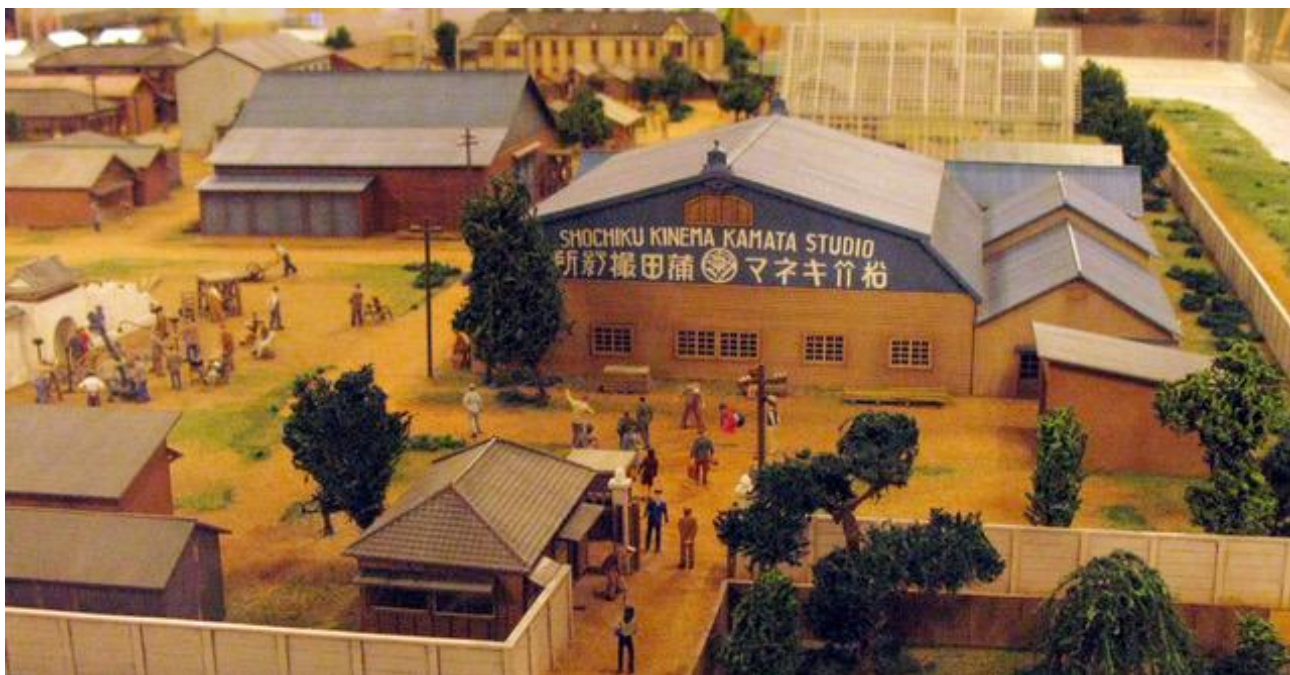
昭和9年（1934）、大倉陶園の隣に日本初のクリスタル専門工場が設立された。創業者・ガラス工芸家各務鑛三の名を会社名とした。

写真左 当時製造されていたと言われているカットグラス。

写真右 6個入りのセットで販売されていた。個人蔵。



松竹キネマ蒲田撮影所 現・蒲田5-37 大田区民ホール・アプリコ周辺



大正9年(1920)、蒲田駅東口に東洋のハリウッドを目指した松竹キネマ蒲田撮影所が設立された。昭和11年(1936)大船に移転するまで、流行の最先端を発信し、「流行は蒲田から」の言葉も生まれた。写真上 区民ホール・アプリコにある撮影所のジオラマ(大田区立郷土博物館蔵)。当時の様子を思い描ける。写真下 ホール前にある松竹橋のレプリカ。撮影所入口近くに流れる逆川に架かっていた。本物は、ホール内の入り口近くにある。



同じ大正9年、撮影所の隣に人工香料工場が設立された。現在も同じ場所で事業を行っている。写真左 アロマスクエア。名前の「アロマ」は、高砂香料にちなんだもの。写真右 アロマスクエアの敷地内にある説明碑。

高砂香料 現・蒲田5-37
アロマスクエア



芹沢銈介の染色工房 現・西蒲田5-20



芹沢銈介（1895・明治28～1984・昭和59）は、昭和9年蒲田駅西口の呑川のほとりに染色工房を設立した。大正末期、柳宗悦等による民芸運動民芸運動が起こり、芹沢も参加した。この工房で生まれた技法による作品により人間国宝（型絵染保持者）になった。

写真左 工房跡地にある石碑。

写真右 芹沢作品のコースター。着物だけでなく、本の装丁やカレンダーなど広く一般に普及した作品も制作していた。

鬼足袋通りと帝国女子医専

現・東邦医大通りと東邦大学



東邦医大通りは、以前鬼足袋通りと呼ばれていた。大正9年（1920）、現・大森第八中学校の敷地に鬼足袋工業が設立したことが由来となっている。また、大正14年には、帝国女子医学専門学校が設立された。NHK朝のテレビ小説「梅ちゃん先生」のヒロインが通っていたことで再び知られることとなる。現在は、東邦大学医学部として地域医療の拠点となっている。写真は、東邦医大通りと右手が東邦大学。右手前の梅屋敷商店街は、かつては、旧大森区と旧蒲田区の区界であり、昭和22年（1957）に合併して現在の大田区となった。また、かつて大森海苔の漁場として栄えた海は、梅屋敷商店街、第一京浜、産業道路を超えた大森東・南地区である。

小沢昭一と女塚神社 現・西蒲田6-22



小沢昭一（1929・昭和4～2012・平成24）は、俳優、タレント、俳人、エッセイスト、芸能研究者と多彩な顔を持ち、中年男性に人気が高かったラジオトーク番組TBSラジオ「小沢昭一的こころ」を長く勤めた。小沢は4歳の時、父の小沢写真館が蒲田へ移転したことで、終戦（1945・昭和20）で被災するまで蒲田に住む。小沢写真館の地に近く的女塚神社は、小沢少年の遊び場であった。



新潟鉄工記念碑

現・蒲田本町1-1



東洋オーテイスエレベーター碑

現・仲六郷1-7

蒲田駅東口側の川崎方面のJR線路沿いにも新興産業が生まれた。大正7年(1918)、現・蒲田本町1丁目に、新潟鉄工所が工場開設。また仲六郷1丁目に、三省堂蒲田工場(大正11年)、東洋オーテイスエレベーター(昭和8年)が誕生した。

写真上 日本最初のエレベーター会社として設立。記念碑は、跡地マンションの敷地内にある。

写真左 現・蒲田本町1丁目のUR蒲田内に、日本船舶ディーゼル機関発祥の地と刻まれて建っている。



六郷用水説明碑

旧大森・蒲田区界 現・千鳥3-3,11

慶長2年(1597)から15年ほどかけて、小泉次太夫が開削した用水路。多摩川を水源として現在の狛江市から世田谷区を経て大田区に至る。

写真左 大田区内の用水路跡に沿って説明碑が点在する。千鳥3-11の碑。

写真右 説明碑の前の道路が用水路跡。(千鳥3-3)昭和22年までは、旧大森区・蒲田区の区界であった。

